

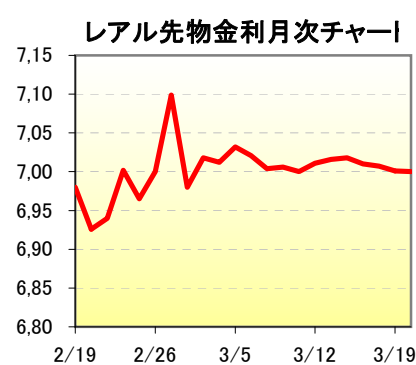
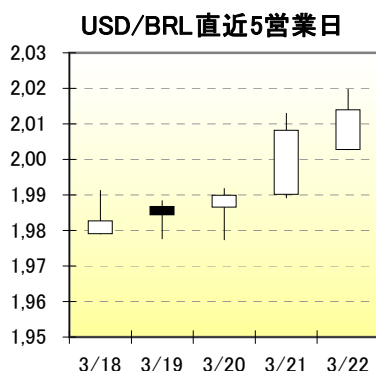
Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



1. マーケット・レート

			3月18日	3月19日	3月20日	3月21日	3月22日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	1,9890	1,9860	1,9890	2,0040	2,0090	+0,0050
	USD/YEN	Spot	95,20	95,16	96,04	94,93	94,46	-0,4700
	EUR/USD	Spot	1,2956	1,2865	1,2933	1,2902	1,2989	+0,0087
	BRL/YEN	Spot	48,01	47,96	48,26	47,28	47,02	-0,2600
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1,45	1,31	1,46	1,45	1,30	-0,1526
		1Year(p.a.)	1,58	1,54	1,59	1,59	1,51	-0,0870
	Real Interest	6MTH(p.a.)	7,51	7,46	7,46	7,50	7,45	-0,0452
		1Year(p.a.)	7,98	7,93	7,94	7,94	7,90	-0,0341
Stock	Bovespa		56.973	56.361	56.030	55.577	55.243	-333,27
Bond	CDS Brazil 5y		129,55	130,63	130,63	132,17	138,83	+6,6580
	Global 40		124,250	123,500	122,375	123,250	123,000	-0,2500

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。



2. 主要経済指標

3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	
IBGE CPI IPCA-15(拡大/前月比,3月)	0.53%	0.49%	0.68%	トンビニ伯中銀総裁 中銀はレアル相場の過剰なボラティリティを避けるためにはいつでも介入する準備が来ている
税収(2月)	80000M	76052M	116066M	
経常収支(月次,2月)	-\$6000M	-\$6625M	-\$11371M	
対内直接投資(2月)	\$3500M	\$3814M	\$3703M	

4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は $US\$1=R\1.9790 で寄り付いた。
- 週初めは週明けに明らかになったキプロス問題に対する救済の一環としてキプロスの銀行預金に課税する案がトロイカで合意されたことを受けて、近隣諸国での預金取り付け騒ぎ等を発端とした欧州債務危機再燃の可能性が高まるとの思惑からユーロが大きく下落、レアルもユーロにつられて売りが優勢となった。
- 翌19日のレアルは上窓を空けて寄り付くも、キプロス議会による預金課税法案の可決が難しいとの観測が高まるとユーロが大きく下落、レアルもつられて1.98台後半まで反落した。
- しかし週末にかけてはキプロス議会による銀行預金課税法案否決を受けて ECB が当面の間、同国に流動性供給を約束したことが好感され、リスク資産やユーロが大きく上昇、レアルも買いが優勢となり週間高値となる $US\$1=R\1.9770 まで買い進まれた。
- 翌21日には3月のユーロ圏の経済活動縮小を示す指標や、ECB がキプロスの銀行向けの緊急資金供給について停止する可能性があることが嫌気され、リスク資産やユーロが下落した。レアルも売りが優勢となり1.9950まで下落し、更に大口の資金流出の噂が聞かれると一気に2か月振りの水準となる2.0000まで続落した。
- 週末にかけてはロシアがキプロスの支援を拒否したことが嫌気されユーロが下落、レアルも週間安値となる $US\$1=R\2.0200 まで下値を拡大し、結局 $US\$1=R\2.0090 で越えた。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成されたものですが、その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



5. 来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
	FGV建設コスト(前月比)	Mar	0.20%	0.80%
	FGV CPI IPC-S	mar/24	0.70%	0.63%
	FGV消費者信頼感	Mar	--	116.2
	貿易収支(FOB)-週次	mar/24	--	-\$448M
	FIPE消費者物価指数(週次)	mar/23	-0.19%	-0.11%
	融資残高	Feb	--	2367B
	貸付残高(前月比%)	Feb	--	0.0%
	個人ローン・デフォルト率	Feb	--	7.9%
	Private Banks Lending	Feb	--	--
	FGVインフレ率-IGP-M(前月比)	Mar	0.32%	0.29%
	FGVインフレ率-IGP-M(前年比)	Mar	8.15%	8.29%
	製造業PPI(前月比)	Feb	--	-0.04%
	製造業PPI(前年比)	Feb	--	7.69%
	中央政府予算	Feb	2.2B	26.1B
	失業率	Feb	5.7%	5.4%
	純債務対GDP比	Feb	35.4%	35.2%
	Nominal Budget Balance	Feb	--	7.6B
	基礎的財政収支	Feb	2.2B	30.3B
	長期レート - TJLP	mar/28	5.00%	5.00%

6. 来週の為替市場注目点

予想相場レンジ：1.97-2.05

今週はキプロスの銀行預金課税法案を巡って市場では近隣諸国への波及から欧州債務危機再燃の可能性が高まるとの思惑が強まり、ユーロやリスク資産が大きく売られた。レアルもつられて売りが優勢となり、週末にかけて2ヵ月振りの水準となる2.0200まで下落した。来週は海外ではキプロス救済合意に向けて24日に行われるユーログループの会合のほか、米GDP成長率などが注目されている。これらの外部要因を受けてレアルのボラティリティーは引き続き高い展開が予想される。週明けのキプロス救済に対する進展によってレアル相場は大きく動く可能性があるので注意が必要であろう。